

令和5年度「国語探究」シラバス

科目名		必修・選択	単位数	類型
国語探究		選択	2	文型
教科書 副教材等	精選 言語文化（第一学習社）			

1 学習目標

一年次に学習した「言語文化」における近・現代文学の学習内容を発展させ、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、近・現代の文学や価値観に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 文学作品の登場人物に対する「同化」や「異化（客観的な分析）」を通して、他者に共感する力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習概要

文化としての日本語、また、日本語を実際の生活で使用することによって形成されてきた文化的な生活、さらに、近・現代に発表された文学作品に表現され、受容されてきた日本語の芸術や芸能などを学んでいきます。近・現代の小説・詩・短歌俳句等の文学や、古典の作品にも触れながら、総合的に国語を学ぶことになります。

3 学習方法

(1) 授業への取組

授業は、教材について読み考え記述し、そして発表する場です。教師が板書することをノートに書き写すだけでは意味がありません。生徒の皆さん一人一人が積極的に参加することが期待されています。

(2) 家庭学習

授業で扱う文学教材については事前に通読し、読めない漢字や意味の分からない語句については辞書で調べておきましょう。事前に通読するのとしらないのでは、理解に大きな差が生まれます。また、語彙力と読解力を強化するためには、日常的に活字に触れることが大切です。画像や動画といった視覚刺激に慣れすぎると、思考や発想が鈍くなります。ぜひ日々の読書を日課としてください。

4 評価について

(1) 評価方法

「知識・技能 (①)」、「思考力・判断力・表現力 (②)」、「学びに向かう人間性 (③)」の3観点で評価を行います。

具体的に評価方法以下の通りです。

- ・定期考査（中間・期末考査、学力テスト）……………①、②
- ・小テスト……………①
- ・授業に対する姿勢や態度……………②、③
- ・発問に対する発表内容……………②、③
- ・課題や提出物等の提出状況・内容・発表方法……………①、②

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

(2) 評価規準

	知識・技能 (①)	思考力・判断力・表現力 (②)	学びに向かう人間性 (③)
評価基準	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	論理的に考える力や、深く共感し豊かに想像する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ、深めようとしている。	言葉を通して他者と関わり、言葉がもつ価値への認識を深めようとするとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

5 学習計画

学期	単元名	学習のねらい（内容のまとめごと）	考査等
一学期	<p>【小説（一）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂に埋もれたル・コルビュジエ(原田マハ) <p>【詩】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・I was born (吉野弘) <p>【短歌・俳句】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こころの帆 <p>【探究①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短歌または俳句を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・父との過去の会話を重層的に描いた構成を把握し、一冊の本にまつわる三人の人間の思いを読み取る。 ・散文詩に親しみ、「I was born」という言葉がどのようなイメージで捉えられているかを読み取る。 ・我が国の伝統文化の一つである俳句の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する俳人の作品を味わう。 ・短歌または俳句を作って、現在の自分の思いを表現してみる。 	<p>学力テスト①</p> <p>中間考査</p> <p>期末考査</p>
二学期	<p>【小説（二）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鏡 (村上春樹) <p>【和歌・俳諧】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古今和歌集 <p>【探究②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌の三十一文字現代語訳 <p>【伝統と文化①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人形浄瑠璃文楽－三業一体の技 	<ul style="list-style-type: none"> ・恐怖体験の一つとして語られる、幽霊でも超常現象でもない、人の内面に潜む恐怖とは何かを読み解く。 ・我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞のしかたを理解し、成熟期の和歌の特色を捉える。 ・学習した和歌の中から自分が好きな和歌を選び、三十一文字で現代語訳できるように、深く味わう。 ・我が国の伝統芸能に関する文章を読んで、扱われている題材や内容、表現の技法などについて興味を広げる。 ・我が国の伝統芸能について書かれた文章を読み、関連する事項について調べたことを整理して説明資料にまとめ、発表する。 	<p>学力テスト②</p> <p>中間考査</p> <p>期末考査</p>
三学期	<p>【小説（三）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き缶 (林京子) <p>【伝統と文化②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祭りの笛 (三浦哲郎) <p>【探究③】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「祭り」をテーマに随筆を書く 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在と過去とが交錯する文章展開を把握し、各場面における登場人物たちの思いを読み取る。 ・我が国の伝統行事について書かれた文章を読んで、内容を効果的に伝えるための筆者の工夫を理解する。 ・我が国の伝統文化に関する題材を選んで、随筆に書き表す。 	<p>学力テスト③</p> <p>学年末考査</p>